

## 医療安全相互チェックシート

受審病院 : (阿蘇立野病院)

チェック病院 : (阿蘇医療センター)

評価基準	A : 適切に行われている、あるいは十分である B : 適切に行われているが改善が必要、あるいは十分でない C : 不適切である、あるいは行われていない X : 判定不能 (当該医療機関では実施の必要性がない項目、確認が行えない項目等)
------	---

令和 7年 3月 26日

(書面調査)

< 前年度課題分 (B評価) を抽出 >

	チェック項目	自己評価	コメント
II	医療安全管理のための具体的方策の推進		
	1 ヒヤリハット事例の報告及び評価分析について		
5	どの職種においても、ヒヤリ・ハット体験の報告が適切に行われている。	B	職種により報告件数に差がある。医師からの報告がないのが課題。
	2 医療事故情報収集事業などに係る報告について		
V	ケア・プロセスに着目した医療安全体制について		
	6 薬剤		
	(1) 注射		
61	自己管理能力がある患者と自己管理能力のない患者への対応が手順化されている	A	認知度や退院後の管理方法に応じて、毎食配薬、1日配薬、カレンダー管理、自己管理で対応している。手順書はないが、カンファレンスを行い配薬方法について、検討している
62	同じ時間帯で麻薬と睡眠薬などを連続して投与業務を行い場合には、紛失・量の誤認・誤薬を避けるよう工夫している。	A	麻薬投与の場合は、必ず看護師2人で薬と処方箋をみて、声だし確認している。麻薬と睡眠薬の時間が重ならないように調整している
	14 急変時の対応		
	(緊急コール)		

II 研修会開催一覧表			
	項目	自己評価	コメント
9	部署毎に医療安全に関する研修会や勉強会を開催している。	B	e-ラーニングなども活用し勉強の機会は作っている。勉強会の開催頻度については、バラツキがある
III 規定及びマニュアル一覧表			
	マニュアルの種類	自己評価	コメント
25	病棟管理薬剤の取扱いマニュアルが必要部署に整備されている。	B	マニュアル化はしていない。救急カート内の薬剤は、使用后と毎月1日にチェック。その他の薬剤は毎日定数確認している

< 前年度課題分 (C評価) を抽出 >

	チェック項目	自己評価	コメント
II	医療安全管理のための具体的方策の推進		
	2 医療事故情報収集事業などに係る報告について		
8	(財)医療機能評価機構が行う「医療事故情報収集・分析・提供事業」及び「ヒヤリハット事例収集・分析・提供事業」に報告している。	C	報告書が対応できていない ・ヒヤリハット報告書の見直し ・報告システム検討中
	III 規定及びマニュアル一覧表		
14	盗難に関するマニュアルがある。	A	作成済
16	自殺に関するマニュアルがある。	A	作成済